

テーマの設定理由

幼児が遊びの中で疑問に思ったことや分からないことがあった際、すぐに答えを教師に求める姿が見られることや、教師自身が園内の自然環境を理解しきれておらず、身近な自然を遊びに取り入れることが十分にできていないことが課題であると感じたため。

活動スケジュール

- ・月に一度 園内研究会
(6月20日、11月20日、
1月16日は研究保育実施、講師による指導・助言)
- ・プロ・ナチュラリストによるフィールドワーク
幼児向け：9月8日、11月21日、1月27日
教員向け：12月17日、1月20日、2月10日



- ・氷に関する絵本
- ・プラスチックのカップ（水を入れる）
- ・銀トレイ（カップやできた氷を置く場所）
- ・マイクロスコープとiPad（できた氷を観察する）

活動事例

氷の実験



登園時、幼児が園庭にある池に氷が張っているのを見つけ、「どうしたら氷ができるだろう」と疑問に思い始めた。そのため、学級みんなで氷をつくる実験に取り組むことにした。暗い場所・涼しい場所などどのような場所にしたらよいか友達同士で話し合い、園庭に水を入れたカップを置いた。次の日、氷はできていなかったが、「次はここに置いてみよう」「銀のトレイに入れてみたらできるかも」とアイデアを出し合いながら何度も試みた。

振り返りを踏まえた気付き

- ・ 園庭の池にできた氷を見つれたり、触れたりして喜んでいた姿から、自分たちの氷をつくることに繋がったことでより関心をもって取り組むことができた。
- ・ 何日かにわたって実験を行い、成功することはできなかったが、水を置く場所やカップの置き方を友達とともに考えを話し合ったり、次はどうしたらよいかを繰り返し考える機会ができた。